

食品安全関係情報(2月28日 ～3月13日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

2月28日 ～3月13日 収集件数 (合計84/112件) (前回2月14日 ～2月27日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (5/9件)	米国 (3/6件)	カナダ (2/5件)	EU、EFSA (21/26件)	各国 (14/19件)	FSANZ等 (5/2件)	中国 (8/7件)	各国 (3/5件)	各国 (0/1件)	報道、論文等も含む (23/32件)
化学物質 (28/27件)	化学物質・汚染物質 (5件)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	2
	食品添加物 (4)	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0
	農薬 (9)	0	1	0	5	1	2	0	0	0	0
	動物用医薬品 (3)	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
	器具・容器包装 (5)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	その他 (2)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	計 (28件)	0	2	1	11	3	3	1	1	0	6
微生物・プリオン・自然毒 (17/46件)	細菌 (5件)	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1
	ウイルス (3)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (3)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	植物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (5)	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0
	計 (17件)	4	0	1	0	6	0	1	0	0	5
新食品等 (8/13件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (6)	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
	健康食品 (1)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (8件)	0	0	0	3	0	0	2	0	0	3
肥料・飼料等 (0/0件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (30/26件)	表示 (3件)	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	放射性物質 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄養 (5)	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	その他 (14)	0	0	0	3	4	1	4	1	0	1
	論文情報 (8)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	計 (30件)	1	1	0	7	5	1	4	2	0	9
海外の食中毒 (1/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (1)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(2月28日～3月13日収集分84件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・欧州連合(EU)、食品接触用プラスチックの材料及び物品の製造に使用できる物質のEUリストを一部改正
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、食品中の残留農薬に関する2013年の欧州連合報告書を公表
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、飲料中のカラメル色素に関するQ&Aを公表
- ・論文紹介:Environmental Health Perspectives(2015年2月26日電子版)「生体外のラットの心臓及び分離した筋細胞で、低用量のビスフェノール S の迅速な応答及び作用メカニズム:雌に特異的な催不整脈作用の知見」
- ・論文紹介:Environmental Health Perspectives(2015年2月27日電子版)「無機ヒ素にばく露した子供における血圧、左室形態及び収縮機能」

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・世界保健機関(WHO)、鳥インフルエンザ A(H5N1)ウイルスによる感染情報を更新(3月3日付)
- ・英国食品基準庁(FSA)、鶏肉のカンピロバクター汚染に関する中間報告書を公表

【新食品等】

- ・欧州連合(EU)、加盟国が自国において遺伝子組換え作物(GMO)栽培を禁止又は制限することを可能とする指令を公表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)、食品及び飼料におけるナノテクノロジーのリスク評価に関するEFSA科学連絡会の2014年報を公表

【その他】

- ・世界保健機関(WHO)、ガイドライン「成人及び児童の糖類摂取量」を発表
- ・欧州食品安全機関(EFSA)
 - ・EFSA データウェアハウスのアクセス規定案について技術的報告書を公表
 - ・食品安全に係る収集データの一般公開について公表
- ・英国食品基準庁(FSA)、ミラノ国際博覧会 2015 の期間中に欧州食品安全機関(EFSA)が開催する、食品安全関連の科学会議の詳細を公表
- ・スペイン消費食品安全栄養庁(AECOSAN)、非包装で最終消費者に販売される食品の食品情報(アレルギー等)に関する一般
- ・米国食品医薬品庁(FDA)、小規模飲食店のメニュー表示に係るコンプライアンスガイドを発表